

第38回非核平和資料展

生きて、繋いで 被爆三世の家族写真

2025.8.3 (日) ~ 8.7 (木)

観覧無料

戦後80年 写真で繋ぐ被爆者と家族 時を超えた非核平和への願い



ラパーク岸和田 1 階

キスパプラザ

岸和田市春木若松町 21 番 1 号

10:00 - 17:30 (最終日は 17:00 まで)

主催：岸和田市・岸和田市教育委員会

協力：写真家 堂畝紘子氏・平和を考える戦争展実行委員会・ラパーク岸和田・岸和田市立小学校・朗読ぐるーぷサルビア
ゴスペル&コーラスグループ プールトゥジュール・国際平和拠点ひろしま構想推進連携事業実行委員会

非核平和資料展 イベント

8月3日(日) 春木市民センター3階(ラパーク岸和田内)

10時15分～

定員 100名
手話通訳あり

オープニング式典

- ・ゴスペル&コーラスグループ
プールトゥジュールによる歌唱
- ・朗読ぐるーぷ サルビアによる朗読劇



11時～

定員 100名
手話通訳あり

講演会

「生きて、繋いで
- 被爆三世の家族写真 -」

どうね ひろこ
写真家 堂畝 紘子氏

- ・広島市出身、西日本豪雨被災記録
「椰子と生きる」 2020年視点奨励賞



被爆者とその家族のつながりを大切にし
写真を撮り続けることで命のつながりを
表現する堂畝さん。なぜ、被爆三世の家族写真を撮り続けるのか、また
写真家である堂畝さんが行う「継承」とは、についてお話していただきます。

14時～

定員 100名

映画会

れっしゃ
「ぞう列車がやってきた」



5さいのポッポちゃんのおとうさんは、どうぶつえんのえんちょうさん。
そのころ日本は、アメリカやイギリスとせんそう中でしたが、どうぶつえんには
まだたくさんのどうぶつがいました。中でも一ばんのにんきものはぞうのマカニ
ー・アルド・キーコ・アドン。しかしせんそうがだんだんとはげしくなり、どう
ぶつえんでもエサぶそくに。そして、とうとう「もうじゅうをしょぶんせよ」と
いうめいれいが、ぜんこくのどうぶつえんに出て・・・

いずれも申し込み不要・参加無料

問合せ先 岸和田市 市民健康部 自治振興課

電話：072-423-9436